

作型 低温、乾燥に弱いので植え付ける場所を考慮する。病気がない良い種しょうがを用いる。生育適温は25～28℃、12℃以下では生育が困難である。腐敗病を回避するため、連作はしない。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
普通栽培				△							■	■	三州・谷中・金時・おたふく

△：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

- 畝幅60cm
- 株間20cm
- 畝底に元肥を施用し、畝を作り、芽を上にして深さ5～8cmに植え込む。
- 地温が15℃以下では腐敗しやすいので早植えはしない。

土づくり aあたり
堆肥 300kg
セルカ(有機石灰) 10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合
元肥 aあたり
油粕 10kg
畝立時施用 (芯肥になるようにする)

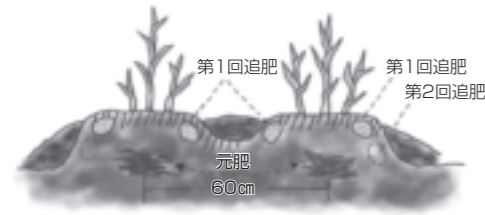
■種しょうがの準備

(病気がない、しまりの良いものを選ぶ)
60～70gの大きさに割る。
芽出ししてから植えても良い。

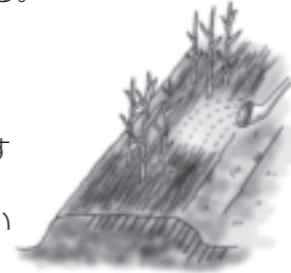


追肥・土寄せ・敷きわら

- 梅雨明け頃、第1回(草丈15cm)野菜専用肥料6kg/aを畝肩に施し、土寄せする。
- 第2回目は(草丈30～40cm)の時に野菜専用肥料4～5kg/aを施し土寄せする。



- 乾燥を防ぐため、敷きわらを敷く。
- 7～8月の乾燥時には、夕方灌水する。
- 過湿にすると腐敗病にかかりやすいので注意する。



防除

病虫害名	耕種防除	薬剤防除
アワノメイガ	早期発見し、ふ化後の幼虫が分散するまでに、被害葉を除去する。	オルトラン水和剤(1,000倍) 45日前まで2回

収穫

- 天気の良い日を選んで行う。
- 茎葉を1束につかんで引き抜いて掘り取る。
- 掘り取ったしょうがは茎葉を切り取る。
- 新しょうがは細根を取ってからきれいに水洗いする。
- 収穫時期の違いによっていろいろな楽しみ方ができる。

矢しょうが

筆しょうがともいう。
葉が3～4枚開いたころ古根を地中に残したままかき取る。
次々ととれる。



根しょうが

新しょうがともいう。
晩秋になり、根が十分に肥大してから掘り取る。



葉しょうが

谷中しょうがともいう。
新しい根が少し肥大したころ抜き取る。



古根
新しょうがをとったあとの種しょうが。

貯蔵

- 病気にかかっているもの、ひび割れのもの、肌の悪いもの等は除き、健全なものを貯蔵する。
- さつまいもに準ずるが、温度はやや高めとする。

裏面は黒大豆栽培についてを掲載しています。

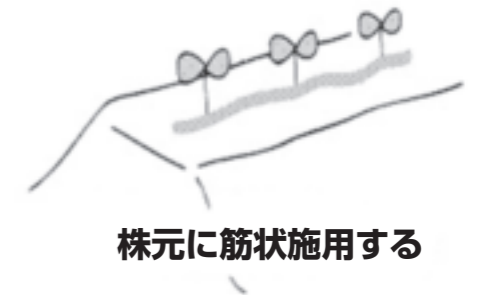
農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.253 平成24年5月16日発行

■亜りん酸

24年度栽培こよみに新たな肥料(亜りん酸粒状1号)を採用しています。
亜りん酸は1回目の追肥時に株元に筋状に散布し、土寄せをします。

亜りん酸は肥料ですが、黒大豆の重要病害である茎疫病等の立ち枯れ病に効果があります。
また、根張りをよくし、収穫時期まで丈夫に育ち、着莢数・収量向上につながります。



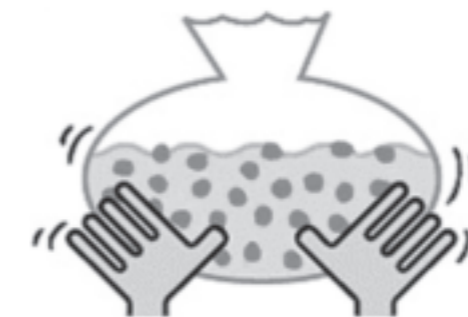
株元に筋状施用する

●使用方法

1回目中耕土寄せ時に、株元に筋状に散布してから土寄せを行う。

■クルーザーMAXX

種子処理することにより、ネキリムシ類や茎疫病に効果がある。
特にネキリムシの効果が高く、生育初期時のネキリムシ被害を軽減できる。



●使用方法

播種前にビニール袋に種と薬剤を入れ、まんべんなくまぶす。

***注意点** 薬剤をまぶした種子は、当日に播種してください。
(翌日になると、発芽率低下の恐れがあります。)

裏面はしょうがを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.253 平成24年5月16日発行